



真っ直ぐ進め！直14 第14期生卒業式



新型コロナウイルス感染症拡大のため、3月2日より臨時休校となった向陽中学校。延期となり開催が懸念されていた第14期生卒業証書授与式が、25日に挙行されました。感染症対策により、卒業生と生徒会役員、保護者、職員のみでの参加で、全員マスクを着用し、座席の間隔を広くとっての式となりました。体育館の後の壁には、田中璃音さんが卒業カレンダー用に描いたイラストがビッグアートで飾られ、式場を彩りました。3年生は朝登校後の1時



間で一通り練習し迎えた本番。鈴木校長先生からは「意識が変われば行動は変わり、行動が変われば習慣が変わる」と激励の言葉が送られました。送辞では、生徒会長の岡室雄大君が「先輩のように何事にも全力で向き合い、優しく気遣いのできる向陽生になりたい」と力強く決意を述べました。そして、古野心乃香さんの答辞。万葉集山部赤人の和歌「若の浦に潮満ち

くれば」から始まり、最後は自作の和歌「杜陰に時満ちくれば 陽に向かい 輝く瞳に まだ見ぬ世界」を朗々と歌い締めくくりました。送辞も答辞も休校中に実行委員が何度か集まって書き上げ、想いがいっぱいだった素晴らしいものでした。最後は卒業生の歌、RADWIMPSの

「正解」。三部合唱で一度も全員で合わせたこともなく、歌詞やメロディーを覚えているか不安でした。接触を避けるため大きく半円に並んでの合唱です。しかし3年生は休み中にも各自で練習しており、朝の練習で初めて合わせただけで、本番ではみんな想いを込めて美しいハーモニーで歌いあげ、会場は感動に包まれました。向陽中学校の卒業式は別れの式ではありません。高校という次のステージへの出発の式なのです。でも、毎年こんなに感動的な卒業式を迎えられるのは、向陽生としての成長の証を実感する幸せな瞬間です。さあ、向陽生第2章が始まります。「真っ直ぐ進め！直14」



文武両道 先輩を超えろ！

中学棟の入口にガラスケースの大きな掲示版が設置されました。これには、向陽中16年間の各部活の団体戦と科学・文化の表彰の最高位、そして最近の賞状を展示しています。運動部では、2期生男子バドミントン団体県大会2位、4期生ソフトテニス女子団体市1位と男子団体2位、野球部は7期生の市2位と10期生紀北大会3位、8期生サッカー県3位、そして、陸上男子リレー近畿3位・県1位、駅伝男子市4位などが並び、科学・文化系では、8期生の科学オリンピック県優勝、10・15期生の暗唱大会最優秀賞などが並びます。力強い題字は3年生の大浦侑季さんが書いてくれました。まさに向陽中学校16年の文武両道の歴史。皆さんにとって今後の目標となることでしょう。この掲示版を見ながら「先輩を超えろ！」を合い言葉に来年度も文武両道で頑張ってください。新たに張り替えられる日を楽しみにしています。



は、8期生の科学オリンピック県優勝、10・15期生の暗唱大会最優秀賞などが並びます。力強い題字は3年生の大浦侑季さんが書いてくれました。まさに向陽中学校16年の文武両道の歴史。皆さんにとって今後の目標となることでしょう。この掲示版を見ながら「先輩を超えろ！」を合い言葉に来年度も文武両道で頑張ってください。新たに張り替えられる日を楽しみにしています。